

Victory

NO.3

令和6年6月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

水無月。ようやく梅雨入りしました。

さて、今回のテーマ展示は「読書バリアフリーを知っていますか」と題し、公益財団法人文字・活字文化推進機構から1ヶ月間、関連図書やツールをお借りして展示しています。(6/3~6/28)

読むことにおいてあらゆる困難を抱えている人達の読書する権利が保障されるために考えられたケアのあり方を知ってもらいたいと思っています。



昨年度の通信でも触れましたが、目が見えない人だけではなく、多言語にも対応したデジタル図書や耳で聞く図書、複雑な表現理解が困難な人へのピクトグラムなどを活用して書かれた図書、触る絵本、電子書籍など、その機能はさまざまです。将来、福祉関係、教育機関はもちろん、出版業界に進みたいと考えている人は、ぜひ手に取って体感してください。

もう一つのテーマ展示は図書委員セレクト「色の本」。カバーやタイトルの文字の色が赤・青・黄・白の4色の本を選んでPOPと一緒に紹介しています。

展示をするときには、大抵本の内容や、季節、行事等を元に本を選書していくのですが、今回は、あえて「色」。意外とあるようでない、固定観念に囚われて選書に四苦八苦する姿も見受けられました。

集めてみると、バラエティ豊かな空間が広がっています。例えば「青い本」…『呪術の日本史』、「赤い本」…『江戸猫 浮世絵猫づくし』、「黄色い本」…『カラフル』、「白い本」…『木挽町のあだ討ち』。



サイエンスカフェに参加しよう。

今年度、SSHと図書館がコラボして、サイエンスカフェを行います。

STEAM LIBRARYとして生まれ変わった図書館を出会いの場に、社会の第一線で活躍する大人と対話するチャンスです。

第1回は、8月2日(金) 11:00~13:00に京都大学 総合博物館 准教授である塩瀬隆之氏を講師に「問いを楽しむカフェを開きます。

塩瀬氏の専門は、システム工学。ロボティクスを活かした生成継承を試みる研究は、リベラルアーツそのもの。理系分野と人文・社会学分野が融合する研究理念は、「問い」の宝庫。専門分野から一度離れ、全く知らない

あるいは出来ない・無理な境地に立ってテーマを捉えることから始める「問い」のデザイン。対話を通して、研究(あるいは探究)のおもしろさの扉が開かれることでしょう。また、博物館という人類の足跡を集積する空間をどのようにキュレーション*しているのかも興味深い。まさにSTEAMの神髄を感じられる時間となるでしょう。ここから、自らの問いをデザインしてみませんか?*キュレーション…美術館・博物館の企画展示(テーマに沿って収集・整理・展示する)。キュレーターは学芸員をさす。

第2回は、8月9日(金) 9:00~13:00です。本校の第44期生6名を講師に「先輩に学ぶ」カフェを開きます。6名はいずれも東京大学・京都大学で学んでいる現役大学生、大学院生です。

数年前まで、この学び舎でみなさんと同じように中学・高校生活を送っていた先輩たちがその頃自らの問いとどう向き合い、これまで歩み、現在に至っているのか。さらに、この先の未来をどのように描いているのかなど、自分の現在と照らし合わせながらたくさんの方の学びを学ぶひとときにしませんか?

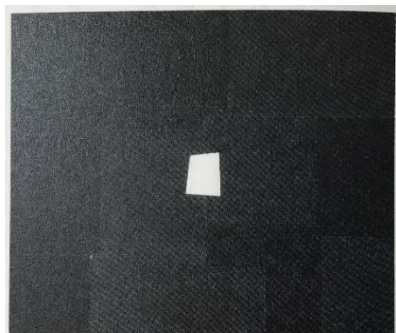


申込用紙は、図書館にあります。申込締切：6月26日

授業支援：中3「感性の時間」

今年度も中学3年生の感性の時間が始まりました。物語を創作する前段階で2時間、図書館としてアニメーション*による授業支援を行いました。

今回のアニメーションは、「1枚の絵から100文字ストーリーを創作しよう」です。参考にしたのは、末永幸歩著『13歳からのアート思考』（ダイヤモンド社）。「絵を見て感じたこと」をストーリーにしました。3作品、紹介します。



(p.165 100文字ストーリー)

『勘違い』

「何？月が四角に見えるだっ
て？お前の望遠鏡精度悪くない
か。俺ので見てみろよ。ほら、
ちゃんと丸に見え…あれ？マジ
で四角じゃん。早くお母さんに
伝えるぞ！」「今日は新月だか
ら、月は見えないのよ。」
「え？」

『青春』

一人、夕闇を歩く。最近失敗
ばかりだ、何もかも。溜息をつ
いたそのとき、声が出た。
「よ、一緒に帰ろうぜ。」親友
のAのおどけたような笑顔。真
っ暗な人生の迷路の中、だけど
そこに一筋の光が差し込んでき
た。そんな一瞬だった。

『思い込み』

君はこの私の面積を求めることが
できるかな？きちんとした図形では
ない。使っているのはえんぴつと定
規だけだ。小数点以下は四捨五入と
しよう。おっとちょっと待て、私は
まんなかの白ではなく周りの黒だ。

同じ1枚の絵でも、見る人の感じ方、捉え方はこんなにも違います。自分には
ない視点と出会う時間となりました。あなたはどんなストーリーを紡ぎますか？

*アニメーション…魂の躍動(わくわくドキドキ)を通して、知る喜び、楽しさを仲間と共に体感する手法。



大事なお知らせ 図書館の Classroom を作りました。
その名も「STEAM LIBRARY (図書館)」

6月10日(月)朝読の時間に、各クラスの図書委員が Classroom
の参加案内をしました。図書館からの新刊紹介、購入希望図書フォー
ム、SSH サイエンスカフェ、さまざまなイベント情報などをアップします。
まだ、参加していない人は必ず参加しましょう。不明な点は図書委員へ。



扉を開こう、世界が君を待っている

この時期は、さまざまなイベントや作品募集があります。

いくつか紹介します。あなたの眠っているクリエイティビティを开花させてみ
ませんか？

宮崎県立図書館

県立図書館とコラボ企画～高校生が考える本・図書館・情報～(仮)

10代の感性で、情報発信してみませんか？図書館は社会とつながるハブ。
あなたが出会った本のこと、推し本・作家など、一緒にコーナー展示を作っ
てみませんか？興味のある人は、図書館・小原まで。

◎展示期間：9月10日(火)から10月14日(月)

宮崎市立図書館

目指せ!図書館クリエイター募集!

市立図書館2階「ファンタジーの世界」「名作のページをめくる」コーナ
内の資料を読み、作品をイメージしたイラストを作成(デジタル・アナログ
いずれでも可)。以下のいずれかを選び応募してください。

- ①【イラスト】 ハガキサイズ(縦14.8cm×横10cm)
- ②【帯部門】【しおり部門】各指定のフォーマット有。帯については、該当
資料にあったサイズ。

(*市立図書館HPに資料リスト掲載)

◎応募方法は、応募用紙(本校図書館にもあります)に必要事項を記入し、
完成作品と市立図書館1階カウンターに提出。もしくは郵送。

応募締切は、令和6年9月30日(月)必着